

鈴木代表理事 巻頭言



「外務省の「気候変動に関する有識者会合」にて」

表題の会合の委員を仰せつかっております。

パリ協定

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol150/index.html>

(2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための196か国による新たな国際枠組み。2015年12月採択、2016年11月発効)で約束した目標に対して、それぞれの国がどう取り組むのかが問われ注目されている国際社会の中で今、日本がどういう行動をとるのかはまさに日本の国益に関わる重大事であるという問題意識から観ると、日本は世界の潮流から大きく取り残されていると言わざるを得ない。というのが、日々、国際社会との最前線で仕事をしている河野大臣率いる外務省の持っている危機意識です。気候変動に大きな影響を与えるエネルギー政策について、経済産業省とも環境省とも異なる観点での、外務省ならではの意見を出したいという河野大臣の強い意向で招集された会合です。

○会合の趣旨やメンバーについて

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_005491.html

○第一回会合の様子

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ch/page4_003621.html

○第二回会合の様子

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ch/page22_002932.html

3月に予定されている経済産業省によるエネルギー基本計画にくさびを打つ意味でも、早急に意見をとりまとめるべく、ほぼ週一のペースで会合を持って盛んに議論をしています。

議論の中身の詳細はまだ公表できませんが、私は、地域の暮らしを下支えする中小企業の立場で、持論である、

1. 経済活性化策として「再生可能エネルギーの地産地消」の優位性
2. 中小企業での省エネの推進の重要性
3. 電力だけに偏りがちなエネルギーの議論での熱の重要性

を繰り返し、お話ししています。

わがエネ経会議のプレゼンスもしっかりと示していきます。ご期待ください。

追申:河野大臣の直近の演説を紹介します。1月14日にアラブ首長国連邦のアブダビで開催された



国際再生可能エネルギー機関 (IRENA: International Renewable Energy Agency) の総会でのスピーチです。大臣の我が国のエネルギー転換への並々ならぬ熱意と決意がにじみでていると感じます。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/page4_003640.html

今後の予定(鈴木代表)

1月16日(火) 18時～	日本生活協同組合連合会賀詞交歓会(東京 ニューオータニ)
1月17日(水) 10時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
1月20日(土) 11時～	横浜国立大学 氏川先生視察(鈴廣)
1月24日(水) 14時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
1月25日(木) 10時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
1月30日(火) 10時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
2月1日(木) 14時～	SDGsセミナーにて講演(神奈川県庁本庁舎3階)
2月2日(金) 10時～	文教出版取材(鈴廣)
2月3日(土) 13時～	未来構想研究会 総括(京都 TKP タワー)
2月4日(日) 14時～	環人8プラム講演(滋賀県 彦根)
2月5日(月) 13時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
2月7日(水) 14時～	森町商工会議所様視察(鈴廣)
2月8日(木)	Hamee 齋藤様視察(鈴廣)
2月12日(月) 15時～	エネ経事務局会議(鈴廣)
2月14日(水) 10時～	気候変動に関する有識者会合(外務省本省)
2月18日(日)	エネ経氷見勉強会(富山)
2月21日(水) 午後	持続可能経済協会シンポジウム(東京大学)
2月22日(木) 8時30分～	エネ経事務局会議(鈴廣)
2月25日(土) 13時～	松田町エネルギー革命(神奈川県 町民文化センター)
2月27日(火) 14時～	東北地方勉強会(仙台 阿部かまぼこ)
5月26日(土)	エネ経総会(東京 紙パルプ会館)
7月14日(土)	ソーラーシェアリングサミット(神奈川県 梅の里センター)
7月15日(日)	
9月2日(日) 午後	鎌仲様上映会・エネルギートークセッション
日程未定	エネ経理事会

全国ご当地エネルギーレポート

「最大のカギは土地利用のあり方を見直すこと／ISEP 山下紀明さん(後編:vol.109)」

今回のトピックは

- ・環境アセスは有効なのか？
- ・根底には土地利用方法の課題が…
- ・ドイツでトラブルが起こらない理由
- ・日本でも始まったゾーニング..[詳細は blog から](#)



シンクタンク機能を強化します



エネ経会議では、調査研究を本格におこないシンクタンク機能を強化する研究部会を事務局内に2つ設けました。 [詳しくはこちらから](#)。



また、あわせまして、エネ経会議では、神奈川県松田町で地域の自然資源を活用したエネルギーを核とした街づくりを進めています。(このプロジェクトは早稲田大学とブリヂストンが連携する助成金ダブルブリッジを活用し、独立大学法人の国立の東京農工大学さんとの共同研究として実施します)

その一環で2月25日(日)にシンポジウムを開催します。

[詳しくはこちらをご覧ください](#)。

今後の催しものなどのご案内

各タイトルのリンクから詳細をご覧ください

- ◆【エネ経会議 富山水見勉強会】
2月18日(日)
- ◆【[松田町エネルギー革命](#)】
2月25日(土) 13時～ 松田町町民文化センター
- ◆【[エネ経会議 東北勉強会](#)】
2月27日(火) 14時～ 阿部蒲鉾店 会議室
- ◆【[エネ経総会 会員大会](#)】
5月26日(土) 東京 紙パルプ会館

主な活動風景を紹介します

主な活動風景を掲載します。



(写真左) 12月24日に松田町寄で行われた、小水力発電によるクリスマスツリー点灯の様子です。

(写真右) 1月13日に秦野市商工会議所で行われた、「日本と再生」上映会&フォーラムの様子です。

また、[エネ経 Facebook](#)では他にも様々な活動をご紹介します。

新書「エネルギーから経済を考える」絶賛発売中



合同出版社発行「エネルギーから経済を考える」につきましては、おかげさまで持ちまして発刊 5000部が完売となり、それを機にエネ経会議にて出版部を立ち上げ、新書判を 3000部発刊いたしました。

(※新書判は、2013年11月1日発行「エネルギーから経済を考える」を新書判にしたもので、内容は発行当時のものです)

お値段も、旧書 1,620円(税込み) から 新書 960円(税込み) とプライスダウンいたしました。

[ご購入の申込みはこちらから](#)

※本配信の HTML 版メルマガとは掲載内容等、一部異なりますのでご了承ください

今号以上